

# 令和3年度 全国 学力・学習状況調査の結果 について

令和3年4月に全国の小学6年生、中学3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。実施された「国語」「算数」の2教科について、本校の傾向や課題をお知らせいたします。ご家庭で今一度ご覧になり、今後の学習の参考にしてください。

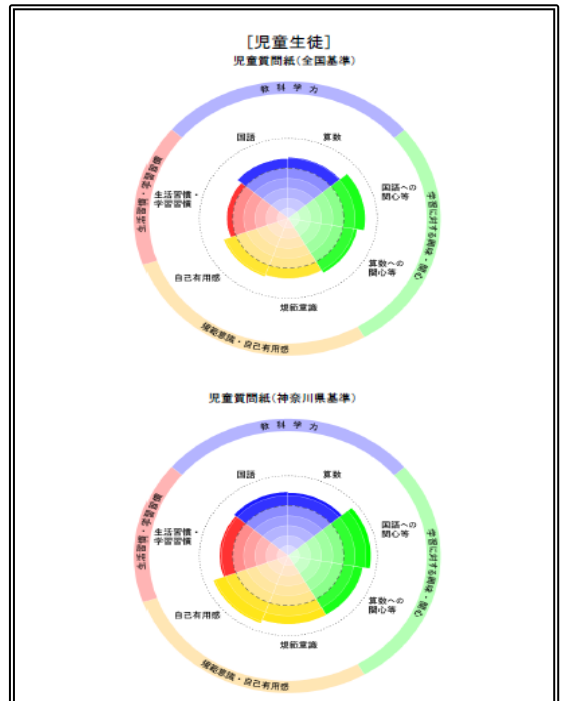
## ○一昨年度調査からの変更点

平成31年度(令和元年度)より「知識」「活用」を一体的に問う問題形式となりました。そのため昨年度までのA問題(主として知識)・B問題(主として活用)の区分がなくなりました。

## ○本校の調査結果(学力)

国語	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本校	72%	78.5%	66.9%
神奈川県	63%	63.8%	62.5%
全国	64.7%	68.3%	62.1%

算数	平均正答率		
	全体	知識・技能	思考・判断・表現
本校	78%	80.9%	73.8%
神奈川県	70%	74.4%	65.1%
全国	70.2%	74.1%	65.1%



### グラフの見方

- ・ 上のグラフは全国との比較。下のグラフは神奈川県との比較。
- ・ 点線が全国・県の学力・学習状況の結果。それぞれの分野の色の濃い部分が本校の学力・学習状況を表している。

出題の趣旨別による結果は次の通りである。

### ◇児童に十分身に付いている力【特徴のある設問】

- (国) 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う 【正答率 97.5%】
- (国) 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する 【正答率 84.8%】
- (算) 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 【正答率 98.7%】
- (算) 条件に合う時刻を求められることができる。 【正答率 94.9%】

### ◆児童に付けたい力【特徴のある設問】

- (国) 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける 【複数課題 正答率 41.8%】
- (国) 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する 【正答率 39.2%】
- (算) 商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる。 【正答率 60.8%】
- (算) 小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる。 【正答率 55.7%】

## ○分析と課題に対する手立て

調査結果より、全国、神奈川県の前答率と本校を比較すると全体で国語は7~9%程度、算数は8%程度高い前答率である。国語では「知識・技能」で全国平均を10.2%、神奈川県平均を14.7%上回っており、高い数値が見て取れる。「思考・判断・表現」では、全国平均を4.8%、神奈川県平均を4.4%上回っている。算数では「知識・技能」は、全国平均を6.5%、神奈川県平均を6.8%、「思考・判断・表現」では8.7%、それぞれ平均を上回っていた。いずれも高い数値を示している。

学習に対する興味・関心が非常に高く、特に国語への興味・関心は算数よりも高い。各設問の前答率を見ると、国語では「語句を文章のなかで適切に使う力」や「文章の内容の中心を捉えて読む力」が高いことが分かる。一方、「目的に応じて文章を要約する力」等に課題が見られた。算数では「グラフから分かることを読み取る力」などは高い数値を示す一方、割合の問題で理解が十分でないところが見られた。

全体として記述式の問題の前答率が比較的低いことから、学習の基礎となる「読む・書く・話す・聞く」といった国語の力を継続して高めていきたい。

## 〈生活習慣・意識・関心等〉

※値は、回答の1（そう思う）と2（どちらかといえばそう思う）の合計値

質 問 事 項	本校 (%)	全国 (%)
【基本的生活習慣】 朝食を毎日食べていますか	96.2	94.9
【基本的生活習慣】 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.5	81.2
【基本的生活習慣】 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.6	90.4
【自己有用感】 自分には、よいところがあると思いますか	93.7	76.9
【自己有用感】 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	92.4	84.3
【規範意識】 人が困っているときは、進んで助けていますか	94.0	88.7
【規範意識】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.0	95.5
【規範意識】 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0	96.8
【家庭学習等】 家で、自分で計画を立てて勉強していますか	84.8	74.0
【家庭学習等】 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか	82.3	78.3
【家庭学習等】 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか <small>（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）</small>	43.1	15.2
【将来に関する意識】 将来の夢や目標をもっていますか	79.8	80.3
【社会に対する興味・関心】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	69.6	52.4
【社会に対する興味・関心】 新聞を読んでいますか	25.3	14.8
【授業発表への取り組み】 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか	92.4	78.2
【授業発表への取り組み】 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	93.7	81.1
【話し合い活動への取り組み】 自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	92.4	78.8
【総合的な学習】 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	88.6	73.0
【新型コロナ関連】 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	78.4	64.6
【新型コロナ関連】 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	70.9	63.1

「生活習慣・意識・関心等」の調査のうち、【家庭学習等】では、学校だけでなく、家庭でも自分で計画的に学習を進めている児童が8割を超えており、家庭学習の習慣が定着していることが分かった。

その他の「生活習慣・意識・関心等」については、今年度の全国・神奈川との比較で顕著な部分を示していきたい。

- 1 【基本的生活習慣】「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で、いずれも平均値を下回っていた。生活リズムを整えることで、一日をより生き活きと活動できる良さを伝え、改善を図っていきたい。
- 2 【自己有用感】「自分にはいいところがある」では全国平均を16.8%上回っており、自分のよさが分かり、自分のやるべきことに前向きに取り組む姿が見られている。
- 3 【規範意識】「人の役に立ちたい」「いじめはどんなことがあってもいけない」の項目で、100%の児童が、「そう思う」「どちらかというそう思う」と答えており、高い規範意識が見られている。「自己有用感」の高さとともに、自分も他人も大切にしていきたいという思いが育っている。人の役に立ちたいという思いを、様々な場面で実現できるように支援していきたい。
- 4 【授業発表への取り組み】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童が9割を超え、全国平均より14.2%高い数値である。道徳での授業発表への取り組みも全国平均を12.6%上回っており、前向きな授業への取り組み姿勢が、自己有用感を高め、規範意識を育てていることが見て取れる。今後も継続して、児童が進んで学習に取り組める授業づくり・授業改善に努めていきたい。